

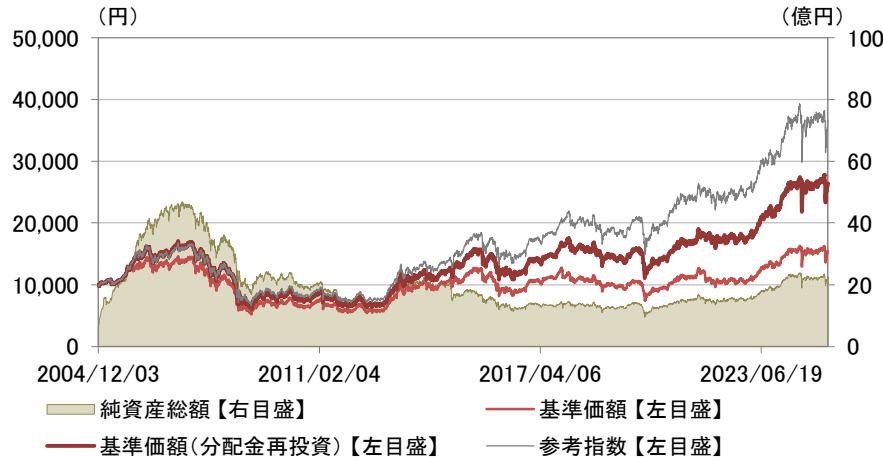
三菱UFJ SRIファンド 〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

追加型投信／国内／株式

月次レポート

2025年
04月30日現在

■基準価額および純資産総額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
- ・参考指数は、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)です。
- ・参考指数は、当ファンドのベンチマークではありません。
- ・詳しくは、後記の「本資料で使用している指数について」をご覧ください。
- ・参考指数は、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-1.4%	-1.9%	1.6%	0.1%	52.6%	164.2%
参考指数	0.3%	-3.3%	0.3%	-0.3%	51.4%	266.0%

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
- ・また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■組入上位10業種

業種	比率
1 電気機器	13.8%
2 情報・通信業	9.0%
3 銀行業	7.5%
4 化学	6.1%
5 その他製品	6.0%
6 卸売業	5.5%
7 サービス業	5.1%
8 機械	5.0%
9 食料品	4.8%
10 小売業	3.7%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 74銘柄			
銘柄	業種	比率	参考指数 構成比
1 パンダイナムコホールディングス	その他製品	2.7%	0.4%
2 中外製薬	医薬品	2.3%	0.7%
3 日立建機	機械	2.2%	0.0%
4 SCSK	情報・通信業	2.2%	0.1%
5 テンドマイクロ	情報・通信業	2.2%	0.1%
6 丸井グループ	小売業	2.2%	0.1%
7 東京海上ホールディングス	保険業	2.1%	1.4%
8 テクノプロ・ホールディングス	サービス業	2.1%	0.1%
9 アイシン	輸送用機器	2.0%	0.1%
10 積水化学工業	化学	2.0%	0.1%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・業種は、東証33業種で分類しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	15,461円
前月末比	-223円
純資産総額	22.39億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第20期	2024/11/20	200円
第19期	2023/11/20	300円
第18期	2022/11/21	0円
第17期	2021/11/22	1,100円
第16期	2020/11/20	0円
第15期	2019/11/20	250円
設定来累計		6,450円

- ・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

■資産構成

	比率
実質国内株式	95.9%
内 現物	95.9%
内 先物	0.0%
コールローン他	4.1%

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ SRIファンド 〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

追加型投信／国内／株式

月次レポート

2025年
04月30日現在

■ファミリー・フレンドリー格付別組入比率

	比率
ファミリー・フレンドリー評価上位企業	90.0%
その他	5.9%

・ファミリー・フレンドリー評価上位企業とは全調査対象企業のうちファミリー・フレンドリー評価の観点から上位1/3以上に位置する企業です。

■オーバーウェイト比率上位30銘柄

銘柄	オーバーウェイト比率
1 バンダイナムコホールディングス	2.4%
2 日立建機	2.2%
3 丸井グループ	2.1%
4 SCSK	2.1%
5 トレンドマイクロ	2.0%
6 テクノプロ・ホールディングス	2.0%
7 アイシン	1.9%
8 カカコム	1.9%
9 DTS	1.9%
10 マルハニチロ	1.9%
11 積水化学工業	1.8%
12 BIPROGY	1.7%
13 日清オイリオグループ	1.7%
14 オカムラ	1.6%
15 日本特殊陶業	1.6%
16 ビジョン	1.6%
17 LIXIL	1.6%
18 大和証券グループ本社	1.6%
19 中外製薬	1.6%
20 阪和興業	1.6%
21 ゆうちょ銀行	1.6%
22 日本精工	1.5%
23 カシオ計算機	1.5%
24 三井住友トラストグループ	1.5%
25 東レ	1.5%
26 マツダ	1.5%
27 高島屋	1.4%
28 日本製鉄	1.4%
29 シチズン時計	1.4%
30 JFEホールディングス	1.4%

・オーバーウェイト比率とは実際の組入比率がTOPIXの時価構成比を上回っている割合です。
・当ファンドはファミリー・フレンドリー評価が高く、かつ割安な株価水準にある銘柄を中心にTOPIXに対してオーバーウェイトしていますが、TOPIX構成銘柄に採用されていない銘柄を組み入れる場合があります。

■運用担当者コメント(マザーファンドベース)

「ファミリー・フレンドリー企業」としての評価が高く、かつ独自の理論株価モデルで算出される割安度が高い銘柄を多く組み入れつつ、業種構成や規模構成などの要素については参考指数(東証株価指数(TOPIX)(配当込み))と過度にカイ離しないようにポートフォリオを構築し運用しました。

4月のパフォーマンスはカカコム、中外製薬、アイシン等がプラスに寄与したものの、INPEX、東レ、カシオ計算機等がマイナスに影響したことにより、ファンド全体では参考指数を下回りました。

今後におきましては、個別銘柄ベースでのファミリー・フレンドリー評価に変更があった場合、あるいは業績予想、株価水準等が大きく変化し割安度が低下した際には、ファンドコンセプトを維持するために銘柄入替を実施いたします。(運用主担当者: 指田 晃平)

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ SRIファンド 〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

追加型投信／国内／株式

月次レポート

2025年
04月30日現在

ファミリー・フレンドリー企業としての評価は、グッドバンカー社からの投資助言に基づいて行います。

グッドバンカー社便り 〜グッドバンカー社からのコメントを原則としてそのまま掲載しています。

■SRI業界コメント

「いのち輝く未来社会のデザイン」に投資する

いよいよ今月より、1970年以来55年ぶりに大阪での開催となる「大阪・関西万博覧会」が開催されています。開幕前には、会場内で基準値以上のメタンガスが検出されるなど、安全性への課題が指摘されましたが、早急に対処され、現時点までは再発していません。

今回の万博のテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」。開催にあたっては、「持続可能な大阪・関西万博開催に向けた方針」、「人権方針」を策定し、脱炭素・資源循環に配慮した万博を実現するための「EXPO 2025 グリーンビジョン」、適切な調達を進めるための「調達コード」の策定・運用、「持続可能性行動計画」の公表を定めています。

1970年に日本で初めて開催された万博は、「人類の進歩と調和」のテーマのもと、「夢のエネルギー」とも言われた原子力発電による電力が利用されました。開催期間に6,421万8,770人を動員し、1日の最高入場者数が83万6千人にものぼった当時から、半世紀が経ち、世界の状況も原子力を取り巻く環境もずいぶん様変わりしました。

特に、2030年を達成目標年とする「持続可能な開発目標(SDGs)」や、「パリ協定」に基づき、2030年に向けたCO2排出量削減に向かうさなかに開催する万博ということもあり、これからの未来社会を見据え、経済発展と社会課題解決の両立をめざす技術を世界に発信していくことが求められています。「EXPO 2025 グリーンビジョン」では、省CO2・省エネルギー技術の導入や再生可能エネルギー等の活用により、温室効果ガス排出量の抑制に徹底的に取り組むことを掲げ、水素社会やカーボンリサイクル技術などについて、2050年カーボンニュートラル達成に向かう技術の具体像を提示することが示されています。

また、開催後も見据えた建材や設備、什器等のリユースの促進や、食品ロス削減のためのフードシェアリングの仕組みの導入など、サーキュラーエコノミーへの取り組みも進めています。さらに、「ユニバーサルデザインガイドライン」に加えて、運営サービスに特化した「ユニバーサルサービスガイドライン」に基づいて会場を運営する初の万博であることも謳っています。

万博の開催方針の中には、めざすべき方向の一つに「会場の整備・運営において、民間企業と連携することにより、地域産業の活性化に寄与する」とあり、『もの』だけでなく、『生活』を豊かにし、可能性を広げることにつながる社会や環境に関する知見をレガシーとして、次世代に継承する」と掲げています。万博に足を運ぶ人もそうでない人も、日本での開催を機に、一人ひとりが持続可能な未来への知見と意識を高め、その観点から投資先を選ぶことも、経済発展と社会課題解決の両立に寄与し、「いのち輝く未来社会のデザイン」づくりに参画することになると言えるのではないのでしょうか。

■ファミリー・フレンドリー評価ポイント

カカコム(サービス業、2371)

① ファミリー・フレンドリーへの取り組み

社員それぞれの特性や能力を最大限活かせる職場環境を整備し、多様な働き方を促すなどの取り組みを進めています。働き方改革では、フレックスタイム制や在宅勤務制度を導入して自主的な時間管理の幅を拡げるとともに働く場所を柔軟に選択できるようにすることで、業務の効率化や生産性向上を図り、従業員による主体的な取り組みなどを促しています。

育児支援については、制度の整備に加え、休業中の従業員に会社情報(社内報の送付など)を提供するほか、復職前にキャリアプランについての申告・相談の面談を設定し、産休・育休相談窓口を設置しています。育休取得の予定有無に関わらずに制度について説明する「男性の育児休業説明会」を開催するなど、男性社員による育児取得も推進しています。

障がい者雇用については、障がい者の社員全員が在宅スタッフとして通常業務を担当しています。採用強化に向けては、入社後のミスマッチを減らすため、一部地域を対象にトライアル就労のスキームを設定。入社後も四半期ごとの定期面談、半期ごとの研修・個人目標設定などを通じて成長を支援し、24年3月末時点の障がい者雇用率は3.0%と法定の2.5%を上回っています。

② グッドバンカー社の評価ポイント

多様なライフスタイルやライフステージの中にある従業員一人ひとりが、安心して働き続け、パフォーマンスを発揮できるよう制度を整備していることを評価します。柔軟な勤務体系については、在宅勤務や育児短時間勤務といった制度の組み合わせで、予期せぬ体の調子不良時などにも臨機応変に対応できるといった声が寄せられているほか、「集中しやすい時間帯に業務に取り組めて、効率が上がった」と仕事への意欲や生産性の向上にもつながっている様子が伺えます。仕事と育児の両立支援の制度や風土が根付き、チーム内での協力体制が自然と醸成され、円滑な業務遂行につながっています。全員が在宅勤務の障がい者社員は必要な支援ツール・ソフトウェアを提供され、「オフィスと変わらない環境で、自分の特性に合わせて働けるのはありがたい」と感謝の声を上げています。こうした多様な働き方支援によって、さまざまな人材が能力を発揮できるようになり、組織を活性化させる効果が期待できます。グルメサイト「食べログ」と価格比較サイト「価格.com」などを運営する同社が、多様な人材が創造的な業務により注力できる環境の整備を進め、経営理念に掲げる「ユーザー本位の価値あるサービスを創りつづける」ことができるか、注視していきます。

三菱UFJ SRIファンド 〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

追加型投信／国内／株式

月次レポート

2025年
04月30日現在

グッドバンカー社便り 〜グッドバンカー社からのコメントを原則としてそのまま掲載しています。

■ファミリー・フレンドリー評価ポイント

日清紡ホールディングス(電気機器、3105)

① ファミリー・フレンドリーへの取り組み

「常に変化を！」——価値観や行動のアップデートを当たり前とし、誰もがいきいきと自分らしく活躍する組織をめざしています。働き方改革では、従業員の持つさまざまな制約を考慮しつつ生産性高く働けるよう、テレワーク勤務制度、時差出勤、フレックスタイム制度、時間単位の年次有給休暇などの制度を設けています。本社事業所では2024年にオフィスレイアウトを変更し、フリーアドレスをスタートしました。育児支援については、「男性社員の育児休業取得率100%」を目標に掲げ、育児休業を取得した男性社員へのヒアリングを実施し、育児休業取得体験談として掲載するほか、子どもが生まれる男性社員に育休や社内諸制度について個別に案内するなど、性別にかかわらず育休を取得しやすい風土づくりに取り組んでいます。女性の活躍推進に関しては、「2030年までに女性管理職比率を全社員に占める女性社員比率と同等の比率をめざす」ことを目標として、23年度は女性リーダー育成プログラムを導入。同プログラムでは、管理職候補者層などを対象に、さらなるマインドアップやロールモデルを参考にしたキャリアの検討、女性同士のネットワーク形成を目的とした研修を実施しました。

② グッドバンカー社の評価ポイント

多様性をイノベーションの源泉として捉えて人事施策を整備し、社員意識調査などによる現状分析によって継続的に風土改善活動を進めていることを高く評価します。テレワークやフレックスなどの柔軟な勤務制度は、プライベートとの両立だけでなく業務の生産性向上の面からも好評で、フリーアドレスについても「他部署とのコミュニケーションが取りやすい」「作業効率が上がった」との声が上がっています。育休を取得した男性社員からは、「貴重な時間を過ごさせてもらった感謝の気持ちや、会社への帰属意識が高まった」とモチベーション向上につながっており、取得前の引継のための業務棚卸やマニュアル作成が進んだり、取得しやすい環境づくりのために周囲も含め社内コミュニケーション改善をめざす姿勢なども伺える効果が見られました。女性リーダー育成プログラムでは、「気負わずに自分なりの視点で活躍したいと思うようになった」といった感想が寄せられ、研修の内容に「満足」との回答が97%を占めています。祖業の繊維から、プレーキ摩擦材や無線通信、半導体などへの多角化で成長してきた同社が、働き方改革と多様性推進によって、企業理念「挑戦と変革。地球と人びとの未来を創る」の実践に努めることを期待します。

■ファミリー・フレンドリー評価ポイント

阪和興業(卸売業、8078)

① ファミリー・フレンドリーへの取り組み

同社は、「多様な個性が響きあい、高めあう職場づくり」をめざすサステナビリティ基本方針のもと、「Professional & Global」をキーワードに「人材育成」に取り組んでいます。さらに、「Management」も加え、グループが国内外で拡大・成長するため、現場力と経営管理力を兼ね備えた経営人材の基盤強化も進めています。2022年6月に開設した企業内大学「Hanwa Business School」では、2024年度より新人事制度と研修コンテンツの連動も開始し、ステップアップに必要なプログラムを提供しています。多様な人材の活躍推進では、総合職の新卒採用における女性割合について3割を継続しており、将来的に管理職へ登用していくことで、女性管理職比率10%をめざしています。さらに、2024年4月に設立した「阪和ビジネスパートナーズ」社が、今年2月に特例子会社の認定を取得。在宅勤務制度を導入しながら、グループ全体で障がい者の雇用機会の拡大に努めています。両立支援策では、有休取得率75%の目標を達成しており、今後もこの数値を維持しながら、特殊な理由で休暇が必要な社員に対するサポートを拡充しています。2025年3月からは、会社が認める疾病に罹患した社員が通院しながら仕事と両立できるよう、時短勤務、時差出勤、年7日間の特別有給休暇を付与しています。

② グッドバンカー社の評価ポイント

中長期的な視野で人材育成に取り組む、その基盤づくりに注力している点を高く評価します。企業内大学は、2030年を見据えた人材強化のために設立しており、社員が自発的に学べる環境を整えており、自己成長とスキルアップを促しています。今後は、グループにも取り組みを広げていきたい考えです。さらに、新人事制度では公募制や早期登用制度を導入しており、活躍の機会と場を広げています。また、継続的に一定の割合の女性総合職を採用することで、それらの女性社員が管理職の年代に近づきつつあるということで、今後の登用と目標達成が期待されます。現在、シニア人事制度も整備しており、65歳以降の就業機会の拡大に向けた検討を進めるなど、若手からシニア、障がい者も含め、全方位で活躍推進に取り組んでいる点も評価できます。両立支援では、社員からの休暇申請時の理由からニーズを感じて病と仕事の両立支援策を導入するなど、現場の声にも耳を傾け、きめ細かな配慮が見られます。これらの取り組みにより、同社の多様な人材が個の能力を高め活躍することで、組織が強化され、同社がめざす「環境変化に対して、継続的・自律的に適応・進化する組織」になっていくことを期待します。

・グッドバンカー社からのコメントは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、三菱UFJアセットマネジメントの個々のファンドに影響を与えるものではなく、投資勧誘・販売を目的とするものではありません。
・業界コメント等については、グッドバンカー社が信頼できると判断した情報に基づき構成されていますが、内容の正確性あるいは完全性については、これを保証するものではありません。

■本資料で使用している指数について

・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ SRIファンド 〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

追加型投信／国内／株式

◆当ファンドは「サステナブル・ファンド」です。サステナブル・ファンドとは、ファンドの投資判断プロセスにおいてESG要素を主要とし、環境や社会の課題解決・改善に寄与する企業等への投資を行い、お客さまの資産形成および持続可能な社会の実現に貢献するファンドとして、三菱UFJアセットマネジメントが定めたファンドをいいます。サステナブル・ファンドへの認定および除外は今後見直す場合があります。

詳細については、委託会社のホームページでご覧いただけます。

(<https://www.am.mufg.jp/corp/sustainability/sustainability.html>)

当ファンドの具体的な投資対象・投資手法等については、交付目論見書の特徴をお読みください。

* ESGとは、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字を取ったものです。

ファンドの目的・特色

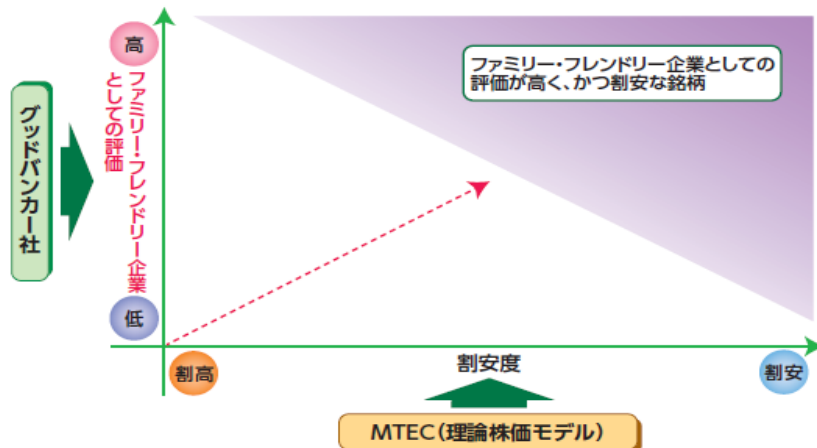
■ファンドの目的

わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、「ファミリー・フレンドリー企業」として高く評価され、かつ株価が本来あるべき価格 (理論株価) に対して割安と判断される銘柄に投資を行うことにより、長期的な値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

- ・ファンドにおいて「ファミリー・フレンドリー企業」とは「仕事と生活を両立でき、多様で柔軟な働き方を選択できる企業」をいいます。ファミリー・フレンドリー企業としての評価は、グッドバンカー社からの投資助言に基づいて行います。
- ・個別銘柄の理論株価および理論株価に対する割安度の測定については、三菱UFJ信託銀行と同社グループの投資理論研究機関「MTEC」(三菱UFJトラスト投資工学研究所) が共同開発した「理論株価モデル」を活用します。

＜ファンドの基本コンセプト＞



・SRI (Socially Responsible Investment: 社会的責任投資) とは、財務的な観点からだけでなく、特に社会的存在として企業のあり方を評価して投資する運用手法です。

・ファンドはSRIの一分野である「ファミリー・フレンドリー」をテーマとしたファンドです。

■ ファミリー・フレンドリー企業としての評価は、以下のような観点に着目して行います。

主な評価ポイント	
各種制度の整備・運用状況	産休、育児、介護休業の制度内容・運用実績・施策の多様性などを評価
多様な労働条件の整備・運用状況	雇用・就業形態の多様性、時間のゆとりなどを評価
その他の両立対応	仕事と家庭の両立のための独自施策、キャリアサポート、健康や安全への配慮などを評価
社会への支援活動	子育て、介護に関する社会支援活動、学生への支援状況などを評価

① 当ファンドでは、ファミリー・フレンドリー企業について、上記の「主な評価ポイント」などに応じて評価しており、評価ランクが上位1/3に属する企業への投資割合が概ね80%以上となることを目指します。ただし、上記は銘柄選定の視点を示したものであり、そのような制約条件の下でポートフォリオを組むことが難しい場合や好ましくないと判断される場合には、この投資割合を80%未満に引き下げることがあります。また、ファミリー・フレンドリー企業が必ず利益成長を達成し、株価が上昇するわけではなく、環境によっては業績が悪化し、株価が下落することがある点にご留意ください。

② 各企業のファミリー・フレンドリー企業としての評価は、グッドバンカー社等から入手できる情報にて行っておりますが、その入手できる情報量、もしくはその正確性、完全性には限界があるため、SRI企業として認めうるもの判断の正確性、完全性について保証するものではありません。なお、上記の評価ポイントは、今後見直す可能性があります。

③ 投資銘柄の選定は、最終的に三菱UFJアセットマネジメントが行います。

④ 「運用担当者に係る事項」については、委託会社のホームページでご覧いただけます。

(https://www.am.mufg.jp/investment_policy/fm.html)

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ SRIファンド 〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

追加型投信／国内／株式

ファンドの目的・特色

■委託会社のスチュワードシップ方針

委託会社はお客さまから委託された資産の運用を行う立場として、投資先企業が株主利益を考慮して企業価値の向上や持続的な成長を果たすことに資するため、気候変動や人権・ダイバーシティ、ガバナンス体制などの投資先企業におけるESG課題を重視し、企業との「目的を持った対話」や明確な方針のもとでの議決権行使などのスチュワードシップ活動を実施します。

(ご参考)

委託会社のスチュワードシップ活動

https://www.am.mufg.jp/investment_policy/responsible_stewardshipcode.html

■ファンドの仕組み

・運用は主に三菱UFJ SRIマザーファンドへの投資を通じて、わが国の株式へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

■分配方針

- ・年1回の決算時(11月20日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ・原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合に、当期の基準価額上昇分の範囲内で分配します。
- ・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・サステナブル・ファンドでは、投資対象銘柄の選択にESG評価を用いているため、ESG評価に基づく銘柄組入れおよび除外基準により、ファンドの主要投資対象市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また投資機会や投資対象となる銘柄が制限される場合があります。
- 投資先企業のESGにかかる評価に際し、第三者データなどを活用することがあります。企業開示が不十分などの理由からこれらのデータや情報が不完全な場合などには、投資対象銘柄の選択の判断に影響する場合があります。
- ・ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ SRIファンド (愛称:ファミリー・フレンドリー)

追加型投信／国内／株式

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位(ただし、1万口を上回らないものとします。)／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時30分までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。 なお、販売会社によっては異なる場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	無期限(2004年12月3日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年11月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に「NISA(少額投資非課税制度)」の適用対象となります。ファンドは、NISAの対象ではありません。くわしくは、販売会社にご確認ください。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

手続・手数料等

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.3%(税抜 3%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 年率1.65%(税抜 年率1.5%) をかけた額
その他の費用・手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号 加入協会: 一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会	●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社 ＜ホームページアドレス＞ https://www.am.mufig.jp/ ＜お客さま専用フリーダイヤル＞ 0120-151034 (受付時間 営業日の9:00~17:00)
--	--

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

2025年04月30日現在

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: 三菱UFJ SRIファンド

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社三菱UFJ銀行(※)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)(※)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(※)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

・商号欄に*の表示がある場合は取次販売会社です。・商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。